

杵築市の活性化に取り組む皆さん

～令和6年10月31日(木)訪問～ 【杵築市】



杵築市では、人口減少、少子高齢化が進む地域を盛り上げようと、様々な団体が活動されています。そのなかでも、自らも他県から移住され、空き家を活用した移住者支援等を行う「一般社団法人 うつりくらす」と、地域の女性経営者4人で設立され、市内の特産品やグルメのPR、マルシェの開催等の様々な事業を展開している「きつき小町会」の皆さんをお訪ねしました。

「うつりくらす」は、空き家の掘り起こしから空き家バンクへの登録、移住者への情報提供や案内、移住関連イベントの開催といった取組を、杵築市のほか、国東市、日出町、姫島村でも行われています。空き家はどの市町村でも増加しており、対策の必要性が増していますが、地域によって利活用への意識に差があるといった課題をお聞きしました。

「きつき小町会」は、老舗の料亭、お茶屋、和菓子屋、介護職という、それぞれ異なる背景を持ったメンバーで構成されています。各人が自身の強みを活かすとともに補い合って、地域の方々を巻き込みながら様々なイベントや事業に取り組んでいる姿勢に感銘を受けました。

皆さんの熱意と多くのチャレンジによって、より温かいまちづくりが進められていることにお礼を申し上げ、引き続き元気に頑張っていたきたいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名:【新】地域未来創造総合補助金

事業概要:人口減少が進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額:5億円

☆事業名:【特】おおいた地域づくり活動支援事業

事業概要:特色ある地域活性化の取組の担い手確保・持続的発展を図るため、市町村から推薦のあった地域づくりに活躍しているひとや団体を登録し、活動紹介や参加者募集を行う特設サイトを開設

予算額:950万円

☆事業名:空き家対策促進事業

事業概要:空き家の適切な管理と利活用を促進するため、空き家相談窓口の設置や移住者等向け空き家利活用の支援など所有者や利活用に応じた対策を実施
・空き家利活用事業費補助金(補助率 県1/4、市町村1/4)

予算額:8,060万円

※【新】は令和7年度からの新規事業

【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」